

花巻市環境審議会（会議録）

日 時 平成28年11月18日（金）午後1時30分～午後4時

会 場 花巻市生涯学園都市会館 3階 第1会議室

出席者 委員出席者 15名 中村良則委員、渋谷晃太郎委員、岩田宗彦委員、八重樫理彦委員、佐々木さつき委員、日下明久美委員、玉田ゆみ子委員、斉藤勝也委員、横野明彦委員、志田知美委員、佐藤真利子委員、大菅孝夫委員、柏崎吉光委員、箱崎陽介委員、晴山淳子委員

委員欠席者 2名 本田孝子委員、久保田清子委員

市側出席者 8名 亀澤副市長、細川市民生活部長、清水生活環境課長、山口同課長補佐、高橋清掃センター副所長、同課似内環境計画係長、同課藤原資源循環係長、同課菅原環境保全係長、同課山口主事

傍聴者 0名

次 第 1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 議 事

(1) 会長・副会長の互選

(2) はなまきの環境（平成28年度版環境報告書）について

5 その他

6 閉 会

委嘱状交付

（事務局：山口補佐） 本日はご多忙のところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、生活環境課の山口と申します。よろしく願いいたします。

開会に先立ちまして、花巻市環境審議会委員の委嘱状の交付を行います。皆様には、市長に代わりまして、亀澤副市長より委嘱状を交付いたしますので、その場に立ってお受け取り願います。

（亀澤副市長より各委員に委嘱状を交付）

1 開会

（事務局：山口補佐） ただ今から、花巻市環境審議会を開催いたします。最初に資料のご確認をお願いいたします。本日お手元にお配りしております資料は、次第と委員名簿、「はなまきの環境（平成28年度版環境報告書）」の修正版です。事前に「はなまきの環境」は送付しておりましたが、修正箇所が複数あったことから、あらためて本日、修正版を配布させていただいております。議事では、こちらの方を使用しますのでよろしくお願いいたします。また、初めて委員となられる方には、「第2次花巻市環境基本計画」を参考として配布しております。

本日の審議会は、委員の半数以上のご出席をいただいておりますので、花巻市環境基本条例第28条第2項により、会議が成立していることをご報告申し上げます。なお、本審議会の会議につきましては、花巻市審議会等の

公開に関する指針に基づき、会議を公開しておりますのでご了承願います。それでは、初めに亀澤副市長よりあいさつを申し上げます。

2 あいさつ

(亀澤副市長) 花巻市環境審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日はご多忙のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。そして、ただ今、委嘱状を交付させていただきました。本日より2年間、どうぞよろしくお願ひしたいと存じます。皆様には、日頃より環境行政をはじめといたしまして、さまざまな形で市政へのご支援、ご協力いただいておりますことを、この場をお借りしまして感謝を申し上げたいと存じます。

さて、環境審議会は、本市の環境の保全及び創造に関する基本事項の調査審議をしていただく機関といたしまして、花巻市環境基本条例に位置付けておりまして、昨年度は、第2次の環境基本計画策定にご尽力いただいたところでありまして、策定にあたりましては、皆様のご意見を頂戴したほか、市民の皆様からパブリックコメントなどといった形で、意見を聴取いたしまして、計画の改訂を行ったところでありまして、今後、この計画に基づきまして各種施策を展開していくわけでありまして、いずれにしても、こういったことにつきましては、現況の把握でありますとか、進捗状況といったものをいろいろと検討していく必要がある。そういう意味では、皆様のご支援とご協力を重ねてお願ひを申し上げます。

本日の審議会につきましては、ただいま司会の方から説明がありましたが、ちょっと資料の差し替えがございますが、花巻の環境、平成28年度版の現況報告書といったものをご説明申し上げながら、これに対するご意見、あるいは昨年度実施しました事業につきましての説明に対するご意見、ご提言等を賜ることといたしておりますので、皆様には活発なご意見、ご提言をいただきますようよろしくお願ひしたいと存じます。そういったお願ひを申し上げさせていただいた形で、ごあいさつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局：山口補佐) ここで副市長は公務のため、退席いたします。

(副市長退席)

3 委員紹介

(事務局：山口補佐) 続きまして、細川市民生活部長より委員の皆様をご紹介いたします。

(事務局：細川部長) 先ほど副市長の方から、委員の皆様方には委嘱状の交付をさせていただいたところがございますが、改めましてお引き受けいただきました委員の皆様方をご紹介申し上げたいと思います。お手元の名簿をご参考いただきながら、順次、お名前を申し上げます。

(各委員を紹介)

以上でございます。委員の皆様方、よろしくどうぞお願ひ申し上げます。

4 議題

(1) 会長・副会長の互選

(事務局：山口補佐) それでは、4議題「(1)会長・副会長の互選」に入らせていただきます。花巻市環境基本条例第27条第1項において、「審議会に会長及び副会長を各1人置き、委員の互選とする」と規定しておりますことから、お諮りします。会長・副会長の互選を、いかが取り計らったらよろしいでしょうか。

(柏崎委員) 事務局案がありましたら、提案をお願いします。

(事務局：細川部長) ただいま、事務局案というご発言を頂戴いたしましたので、事務局の案を提案させていただきたいと存じます。会長には渋谷晃太郎委員、副会長につきましては中村良則委員をお願いしたいと考えております。皆様、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声、多数)

ありがとうございます。

(事務局：山口補佐) 渋谷会長には、お手数ですが会長席にご移動をいただきまして、一言ご挨拶をお願いいたします。

(席移動、会長あいさつ)

(渋谷会長) 順調に選任させていただきまして、ありがとうございます。僭越ではございますけれども、会長職を務めさせていただきます。

今年は、岩泉で大きな災害が発生して、集中豪雨が発生して、未曾有のというか、このところ時々発生する集中豪雨で多くの方が亡くなった事件がありましたけれども、遠い原因の一つとして、地球温暖化じゃないかという話が出ているくらいですね、地球温暖化というのはすごく身近な、自分たちの生命にかかわってくる話になってきています。ちょうど今、COP22というのが開かれていて、パリ協定という世界中で合意ができたものがあるんですけども、合意ができた矢先に、トランプ氏次期大統領が「離脱する」というご発言をされました。かつて、京都議定書が京都会議で作られたときに、同じようなことがあって、アメリカが離脱したんですね。世界中がまとまっている中で、同じことがないように、今、引き留めようとしているところですけども、そういう世界的な大きな動きはもちろん、市民の生活の中で、自分たちに災害というか、危害がおよぶという状況にあるので、この報告書の中にもありますけれども、温暖化対策とかは、これから進めていかなければいけないことですので、この審議会は重要な役割を担っているのかなと思っております。皆様方、これからのご審議のほど、円滑な進行につきましてご協力賜ればありがたいと思っております。よろしく願いいたします。

(事務局：山口補佐) ありがとうございます。花巻市環境基本条例第27条第2項により、議事の進行を渋谷会長をお願いします。

(2) はなまきの環境（平成28年度版環境報告書）について

(渋谷会長) それでは、議題の2番目になりますけれども、「はなまきの環境」についてご審議を行いたいと思います。お目通しいただいたと思いますけれども、まず、市の事務局の方から概要について、だいぶタイトになりますので、まずIからですね、ご覧いただいて、その他についてはまた後で、よろしいでしょうか。それではよろしく願いいたします。

(事務局：清水課長) 平成26年度から昨年度まで、環境審議会で第2次環境基本計画策定にかかります前計画の振り返りと見直しを行っていただきました。長時間に渡りまして、ご検討を重ねていただきまして本当にありがとうございます。本日お願いいたしました委員の皆様方には、2年間という、また長きにわたりましてお世話になります。よろしくお願いいたします。

本日の審議会では、環境にかかる前計画の計画期間である平成27年度の実績や状況について、ご報告をさせていただくとともに、委員の皆様からのご提言等をお聞かせいただき、来年度以降の環境行政に反映させていきたいと考えております。また現在、市の方では、まちづくり総合計画のビジョン実現のために、平成29年度から31年度までの第2期中期ビジョンを策定しているところでございます。この中期ビジョンは市の上位計画でございまして、環境基本計画と一体となって推進する計画でありますことから、ビジョン策定にあたりましては、本日、委員の皆様からいただいたご意見も参考とさせていただきたいと考えておりましたので、よろしくお願いいたしますと思います。

それでは、本日お配りした修正版の「はなまきの環境」をお開きいただきたいと思います。

～ 修正版「はなまきの環境（平成28年度環境報告書）」Ⅰ 環境の現状 について説明 ～

(渋谷会長) ありがとうございます。かなり量が多いので、少しずつご意見をいただきたいと思います。最初に戻って、1ページ目の社会環境について、特段ないと思いますけれども、何かありますでしょうか。一ついいですか。花巻市の位置がですね、北緯東経が出ているんですけども、普通の市民の方は、全然わからないと思うので、地図を、位置はだいたいわかっていると思うので、東北のこのあたりというところにこの位置を入れるとか、できるだけ市民の方にはわかりやすいようにしていただくために、加えるという感じですかね。その方がいいかなということだけです。北緯とか地理感覚がないと、なかなかわからない。すみません、つまらないことだけでも。

(事務局：清水課長) わかりました。

(岩田委員) 私はまったく知らないことがありまして失礼します。極北とか極南とか、極西とか、何のことなのでしょう。一般的に使われている言葉なのでしょう。

(事務局：清水課長) 市の統計書にはこのような表記をしております、この場に出した用語ではないということでございます。

(渋谷会長) 一番北の端と南の端、ということですか。

(事務局：細川部長) 市のエリアの形の端、上下左右のラインを、緯度経度で表した数字です。

(岩田委員) 素直に見てしまうと、緯度だとか経度が2種類あるのかと思ひまして、びっくりしました。何か一言、説明があった方が。

(事務局：細川部長) おっしゃるとおりです。

(渋谷会長) とにかく、市民の方に分かりやすいようにしてください。分かりやすければ、それでよいと思います。

(事務局：清水課長) わかりました。地図も付ければ分かりやすいと思いますので、一緒に入れたいと思います。

(渋谷会長) 続いて、2ページ以降、「大気」と「水」に関して。とりあえず、大気。2ページ目はいかがでしょうか。感覚的には、大気汚染というのは、ほとんどないという気がしていました。データでも出ていない。よろしいでしょうか。

(岩田委員) 大気に関しても水質に関しても、それ以降のことだとか、汚染物質のことだとかここに書かれていることは、現状がこうなっていますという意味だろうと思います。データに関しては、それは、現状であって、過去にどういう計画をして、現状がこうなって、将来はどういう方向に行くのだという動きというか、時間軸の説明がある方がわかりやすいと思ひまして、一言、ご意見を申し上げます。

(渋谷会長) 事務局としたらいかがですか。

(事務局：細川部長) 実際、水質でも経過は現実的にありますが、下水道が普及する前は、良くなかった時代があるのもまた事実です。大気については、あまり花巻では揉めたことはないのかもしれませんが、そういう時代の流れにともなう状況を取り組んで、今があるというのは、ご指摘のとおりでございます。特に今、何もしてはいない落ち着いた状態だとしても、今後、そういった部分は、監視といいます、見守っていかなければいけないという方向性は、考え方としてお示しできるのかなと。その辺を、文書の表現とかで加えられないかと思ひます。しかし、その部分は確かにご指摘のとおりの部分かと思うのですが、一方、報告書という形となっていますので、どこかにまとめて書くか。実際、報告書という表現は、昨年度の現状の報告にとどまった報告書というスタンスで書いておられますので、今ご指摘あった表現は、書いていないという状況ではあります。

(渋谷会長) 過去5年程度、遡っているということでご理解いただければと思います。

(事務局：細川部長) 今のご指摘のあったような部分は、何か違う角度でものをまとめる際に、そういった視点もちゃんととらえて伝えていくなり、残していくなり、意識して、どこか違うところで、計画なりに入れ込む際に、きちんと意識をして入れ込む用にしていきたいと思ひます。これはあくまでも単年度の報告書だということで、受け止めていただければと思ひております。

(岩田委員) まったく同じことをまとめられていく体系に、考え方に、どこから現状がきて、どういう方向に行くんだという一つの流れがあって、現状を説明されると、我々にも分かりやすいなということですよ。

(渋谷会長) 後で出てくる、環境基本計画の中にそういうトレンドの話が出てくるのかなと思ひます。後程また、ご意見をお聞きします。後でまた全体のことはやりますけど、水質の方はいかがでしょうか。

(中村委員) 岩田先生とちょっと関連するかもしれないのですが、3ページの表を見ますと、特に大堰川、街中を流れる川ですけれども、平成27年度になって、B・CからFにぼっと上がって水質が悪くなっている。その原因は何で、対策は何か。もう一つは、北上川や豊沢川、猿ヶ石川に比べて、市内を流れる後川とか滝の沢川、大堰川は、きわめて水質は悪いですね。本当は、これが逆でなくてはいけませんよね。市内を流れる川こそ清流だというのが、本当は望ましいと思っている。北上川や豊沢川などより、市内の川がもっときれいになってほしい。やっぱり、対策を考えるというか、市内の川の清流化というのは、これは重要な課題として位置づけたらいいのではないかと考えている。現実、水質が悪くなってきたので対応はどうするのかと、市内の川の水質がもっと良くなるのかということですね。もっと良くすべきということです。

(事務局：清水課長) 先生のおっしゃるのは、ごもっともでございます、なんでFなのだろうと、私も疑問だったのでちょっと調べました。ここでは、年に6回測定しておりますが、各々の数値が出てきた中で、ここでは75%値ということで載せておりますので、悪い数値からずっと見て行って、良い数値もありますが、悪い方から2番目の数値がここに載ってきます。そういった意味で、たまたま測定した2ポイントが悪くて、残る4ポイントはBODが1とか2の測定値ですので、常に河川水質が悪いというわけではなくて、おそらく、測定したときの水量が少ないとか、そういう条件があつて、悪い数値が出てしまったようでございます。ただ、悪い時の原因が、我々は水量のことしか、今は推測していないのですけれども、ほかの要因があつたかという部分までは、原因追求はできていない部分でございました。後川、滝の沢川、大堰川については、北上川とか大きな河川は常に水量が安定しているのですけれども、市内の小河川については、水量のバランスが多い時と少ない時がありまして、測定するときの条件によると考えております。

(中村委員) 川の水だから、水利権のことかなと思うのですけれども、基本的には、ここに流れている川は堰ですよね。だから、人為的に水量をもう少しと寛大して多くするなど、というようなことは出来ないのだろうか。冬でも常に雪が降っているのだから、そういうことは市として出来ないのでしょうかということです。

(事務局：細川部長) 川によっては、出来なくはないかもしれませんが、水量調節はかなり難しいのかなと思います。考えましても水量、時期、タイミングとかの問題もあるのかと思いますが、実際何が原因なのかということをやっと探究できていないという部分もあります。下水道は普及しているものの、まだまだ下水に接続できていない街中の住居は、ゼロではないと思います。その辺の数値は、下水道の情報をチェックすれば、見えてくる部分があるかもしれませんので、もう少し、原因を探りながら、何か対応可能なものがあれば、今、委員からのご指摘があつた通り、きれいな川の方に行くような、活動対応を検討していく必要があると思いますので、そこはもう少し、原因も含めて研究をさせていただきたいと思います。

(渋谷会長) 水質系はとりあえずよろしいでしょうか。

(佐々木委員) 3ページの水質のところの、BOD・CODのそれぞれAとBと①に網がかかっているのは、何か意味があるのでしょうか。

(渋谷会長) 基準をクリアしているところ。

(佐々木委員) それであれば、見たときに分かるように、下の表も同じように揃えると見やすいのではないかなと思ったものですから。

(事務局：清水課長) わかりました。

(渋谷会長) むしろ、網掛け逆かもしれないね。

(佐々木委員) そうですね。

(事務局：細川部長) 適合が白くて、引っかかっているのが網掛けで、表にも網掛けを反映させると視覚的に分かりやすくなるかもしれませんね。

(渋谷会長) ちょっと工夫をしていただければ。ほかにはよろしいですね。騒音の方はいかがでしょうか。6・7・8ページ、振動まで。先ほどの説明で、新幹線については、前にもお伺いしたのですけれども、北海道新幹線が出来て、通過車両が増えたのと速度が早く、スピードが上がったという。それにともなって若干、超過しつつある。対策は、JRに伝えていただくということですね。

(事務局：細川部長) ご指摘のとおり、早いタイプの、いわゆる「はやて」とか「はやぶさ」とか、青森に伸びたのもそうですし、北海道までも伸びていますので、ああいう列車はスピードが上がっていますので、騒音が高くなる傾向にあると思います。そこは定期的に、先ほど課長が申しましたとおり、JRの方にも確認いただいて、改善申し入れをさせていただきたいと思います。

(渋谷会長) そのほか、悪臭、放射性物質、12ページまで、何かございますか。

(八重樫委員) すみません。内容じゃなくて、目次に戻るのですけれども、大きいⅡ・Ⅲ・Ⅳのところでは花巻市環境基本計画の進捗状況になっていますが、「進捗状況」の間違いではないですか。

(渋谷会長) 目次の字ですね。字が違う。

(事務局：細川部長) 失礼しました。

(渋谷会長) ありがとうございます。放射性物質については、データは載せられますか。下回っているというところなのですか。

(事務局：清水課長) これについては、市では簡易測定で行っている部分です。その数値は、ちょっと誤差が大きい部分がありまして、ある一定の部分を超えたものにつきましては、岩手県の方でちゃんとした測定をしてみてくださいというご案内をしております。そういった意味で、実際それが、一人歩きするのもうまくないし、個人の方からその結果を公表してよいですかと聞いてないものですから、ここの表として載せるというのは、控えたいなと思います。

(渋谷会長) 市の測っている2地点は。

(事務局：清水課長) 文章の下の方ですか。

(事務局：細川部長) 測定数値については、市のホームページなどで公表していますので、それを整理した表を差し込んで、付けることは可能かと思えます。

(渋谷会長) 市が測っている2地点が公表しているのであれば、載せた方がよいかと思えます。市民の皆さんもどのくらいなのか、安心すると思えますので。ほかにはございますか。

(日下委員) (7)の公害等への苦情のところですが、「カラスに係る相談では、被害防止対策などの助言を行いました」と書いてありますが、どういう助言をしているのか伺いたいのですが。

(事務局：清水課長) カラスの相談は、主にカラスの糞です。沢山飛んで来て、汚してくということなので、そういう場合は、カラスが光を気にして逃げていくという習性を利用して、大きな強力ライトで照らして、こちらが威嚇をします。ライトは、お貸ししたりもしております。

(事務局：細川部長) あとはですね、電線に止まる場合ですけれども、100%やってもらえるかわかりませんが、イガイガがついたカバーがございまして、市内でも何か所か、市役所の近くでも取り付けている場所があります。電力さんに相談して、もし電力さんがやっただけであれば、カバーをつけて、止まりにくくするプラスチックのようなカバーを電線につけてもらえる場合もあるようです。まずはご相談してみてください、というお話で恐縮ですが、紹介させていただいているところです。

(渋谷会長) それでは13ページ、ごみ、一般廃棄物のところ、16ページの上まで、リサイクル、ごみ、ご意見ご質問がありましたらどうぞ。

(玉田委員) ごみのところについて、予算関係・処理量については、今、課長さんの方から説明があったのですけれども、塵芥処理費のところが増えている理由とか、そういうコメントをちゃんと書いてあった方がいいのではないかと思います。あと、年度別搬入量のガラス瓶がゼロというところがですね。後ろが多分、家庭系ごみの収集で、全部取り扱っているもので、直接は持ち込みしていないということでもよろしいですか。

(事務局：細川部長) この表は、清掃センターに直接持ち込まれたものの表ということで、びんなどの回収は、いわゆる各地区の回収ステーションで、びん・かん類は集めてきます。それらは、家庭系ごみの収集状況の方にみんな入ってしまい、結果、センターに直接ビン類を持ち込む人はないという意味です。まったく注釈が不足している状況でございまして、申し訳ございません。そこは意味の分かるように、注釈なり、表のタイトルなりを加えさせていただきたいと思えます。すみませんでした。

(横野委員) 関連して、13ページの表の単位が、例えば家庭系ですと499.87tですけれども、14ページですとキログラムでして、これとの関係がどうなのかということで、14ページの方が数量的に10倍くらい量が違うので

はないかと思います。処分場に持ち込むものは、1/10 ぐらいしか持ち込んでいないのではないかと、イメージはするのだけれども、ちょっと単位を変えていただいたらと思います。それと、持ち込んでいる以外はどうかしているのかなど。リサイクルとかに回っているのか、よくわからないのですけれども。

(事務局：細川部長) 量のバラツキがあって、なんとなくバラバラになってしまっている感じがあると思います。単位は同じ方が、比較しやすいということでございますので、そこは、どっちにあわせれば見やすいのかということもありますが、いずれ統一した単位で、比較していただけるようにしたいと思います。

(渋谷会長) 関連してなんですけれども、このアとイのデータですけれども、センターに持ち込まれたものの量。何が言いたいかという、持ち込まれた量と収集してきたものがあって、トータルがないので、その内訳が出ているのかなど。見ていると、よく分からなくなってきたのですが。統計の仕方が違うのでしょうか。たぶん、先ほど中村委員が言われてとおり、イが大きくて、アの方が1/10 くらい持ち込まれているという割合になっていると思います。足し算すると、全部だという風に見えますが。

(事務局：細川部長) そうですね、収集系なのか、持ち込み系なのか、ざっくり申し上げると、無料回収なのか、有料持ち込みなのか、という感じの形になってはいるのですけれども、おっしゃるとおり、花巻市で集めたごみのトータルはこうだという表がないというご指摘は、ごもっともですので、こういう内訳の仕方がいいのか、内訳は内訳としていてデータはあるけれども、お示しするのは全体の表にすべきなのかというのは、一考の余地はあるかと思います。

(渋谷会長) コメントつけていただければ分かるということもありますので、それも一つの方法かもしれません。

(岩田委員) それに、リサイクルを加えれば、花巻市から出て行くすべてのごみの量が分かるのではないのでしょうか。やはり、トータルという数字も必要ですし、その内訳という数値も必要のように感じますので。それが出てくると、何を改善すればよいかという将来方法が見えてくる、というふうに思います。

(事務局：細川部長) 総合計を上手くわかりやすく、出せるかどうかですが。

(渋谷会長) 技術的なところもあるので。

(事務局：細川部長) 先ほど、単位の話もありましたので、比較という部分で単位を合わせたいというご指摘を受けましたので、それを含めまして、やはり分かりやすい数値でのお示しの仕方を、工夫させていただきたいと思います。

(岩田委員) 議論が済んで、説明が終わっているのかもしれませんが、予算のところ、2段目の塵芥処理費の26年と27年が北上の施設の建設費になっていることだけだと思います。異様に金額が上がっていますので、下に一言説明を付けた方が安全ではないかなと思います。

(事務局：細川部長) その部分につきましても、表の趣旨、表の意味などを注釈が必要なところはちゃんと付けるように、整理させていただきます。

(渋谷会長) ちょっと工夫していただいて、市民の方に分かりやすいように、ご説明していただければと思います。ほかにはございますか。

(日下委員) 15ページのバイオディーゼル燃料の再資源化というところで、回収量は増えているのに、精製量が減っている理由をお願いします。

(事務局：清水課長) BDFはですね、精製する際に廃食用油の純粋度といいますか、使えるものと、使えないものがありまして、そういった意味で、かならずしも回収したものが、ストレートに精製量になるというものでもないようです。数字はイコールでも、同じ傾向にはならないということです。

(渋谷会長) 今のようなところは、疑問にもたれるかもしれませんので、注釈をつけたら。回収量が増えているのに、精製量が減っちゃうというのは、不思議な感じがすると思うんですよ。

(玉田委員) たぶん、23年と24年は、回収量が少なくて、精製量の方が多くなっているの、一概に回収量と合っている訳ではないという気がするのですけれども。

(渋谷会長) 精製の幅があるということが、分かればいいんですけどね。ちょっと調べてみてください。

(事務局：細川部長) ご指摘のとおりでございます。書いた人だけ分かっている、これを見ただけでは何のことだか分からないということだと思います。23・24は市が手掛けた回収以外に、原材料が別ルートで入りこんできていて、結果として、精製はしているけれども、いわゆる原料と出口が違っている数値が入り込んでいるようです。ぱっと見ただけでは、分からなくなってしまうので、解説を入れる必要があると思いますし、誰が見ても分かるように、疑問に思う部分が埋まっているような形になるように、表の数値については再点検したいと思います。すみません。

(渋谷会長) 回収量より精製量が多いというのは、ありえないですね。ありがとうございます。データについては、正しいものだけにしようかどうかですね。

(事務局：細川部長) 数値が逆転しているところは、もう一度チェックしてみます。

(渋谷会長) よろしく願いいたします。それでは、4番目の自然環境と環境美化について、ご意見を伺います。

(岩田委員) 4番目の自然環境について、これまでのところは、人間活動が環境に負荷を与えているというデータや現状が報告されていて、人間活動が、自然に負荷をかけていない部分、自然の状態というのは、4番ですね。5番以降は、人工的に美化しようという意味で、自然の状態を説明しているのは、このページ数でいえ

ば、1ページしかない。それが現実だからしょうがないのかもしれないけれども、バランスとしては非常に悪いなど。少なくとも、大都会の真ん中の、東京の真ん中の1地域だったら、別ですけども、イーハトーブの自然を売り物にする花巻としては、ちょっと、バランスが悪すぎるなど気がいたしまして、一言指摘させていただきました。

(渋谷会長) 確かに、森林とか、いろんなことがあると思うのですがけれども、水質の、水系の生き物しか書かれていないですね。これは、だいたいこんな感じの計画だったのでしょうかね。計画というか、報告ですけども。

(事務局：清水課長) 過去の報告書がこのような項目になっていまして。

(渋谷会長) やはり、公害系が中心に書かれていた時代の流れをそのまま来ている感じですね。

(八重樫委員) ここに、今年の3月に作った第2次環境基本計画があつて、そこにも花巻市の環境の現況が書いてあつて、そこには自然環境については、早池峰山があります位の話しか書いていないのです。こういうのもあるから、動植物の数を調べて欲しいとかですね、生育調査をしてくださいと言うことを審議会の時に申し上げたのでけすけれども、もともとそういう意識があまりない。結局、今度の計画にも盛り込まれなかったので、すっかり、抜け落ちてしまっている。

(渋谷会長) 逆にいうと、自然環境が非常に豊か過ぎて、当たり前っていうところが、もしかしたらあつて、逆に大都会だったら、こっちの方がたくさん書いてあることが多いんですけども、そういう市の特性が出てくるのですかね。急に書いて下さいといっても、なかなか難しいと思うので、ちょうど切れ目の年であり、新しい計画も動きだしていますので、次の報告に際して、充実をするようにご検討いただければと思います。森林の状態がどうなっていて、全般的な市の自然環境がどうなっているのかということを書いていただければいいのかなと思います。今回は書く訳にはいかないのですが、この中身でどうかというご意見だけ伺います。

(柏崎委員) 今の点なのだけでも、この前、市の方に答申したとき、自然環境・美化に3ページから4ページを割いているのですよ。今日は報告書という感じなので、前の答申の中では、結構な写真入りとか、地図とか全部入れてですね、花巻の環境はこうだよという資料があるのだから、若干すりあわせをした方がいいのではないかな。

(事務局：細川部長) お話があつたとおり、今年度から新しい第2次の計画で動き出しておりますが、今回のこのご報告は、前計画の最後の年度の部分で、境目の部分でございまして、会長の方からも柏崎委員からもお話があつたとおり、来年度に報告申し上げる28年度の部分は、当然第2次計画ベースです。この中にも自然環境の部分につきまして、記述、施策のところにも里山の保全ですとか、そういった話は出ています。再三のご指摘があつたとおり、今まではこういうスタンスで来てしまったというのがありますので、そこはご指摘のとおりですし、そこは足りないんじゃないのかということだろうと思いますので、次の計画に向けては、もう少し、環境基本計画の方針に沿ったご報告になるように、充実していく方向で検討させていただきたいと思います。

(渋谷会長) 要は、市が自然環境に対して何もやっていないということになってしまいます。報告ですから、いろいろされていますので、書いていければいいだろうと思います。森林の保全とか、いろんなことを、やってらっしゃると思います。これだと、自然環境の中で水のことだけやって、ほかのところは何もやっていないということになる。それは、まずいだろうと。バランスよく書いた方がよいだろうと。ちょっと進めますが、環境美化のところ、ここにいられている大菅さん、花と緑の会でいろいろご苦労されていると思いますが、先ほどご説明ありましたけれども、27年度活動されて、ご苦労されたこととかございますか。

(大菅委員) 歴史はあるのですけれども、会員数160数名と人数も縮小され、高齢化により、これといった活動は、当初に比べると少なくなってきています。現在は、総合体育館の玄関口のところの両側に花壇があるんですけども、そこに花を植えて、管理して、言ってみればその程度なのですね。過去は、なはんプラザの前の花壇の管理もしていました。それから市が花の苗を作っていたので、会員も一緒になって、花の栽培をしたりしていたこともあるのですが、今は、体育館の花壇マスを続けているだけ。あと、会員は各地域にいるから、主体になっているかわかりませんが、主体的に活動して下さいと、そんなようなものです。特に今年は国体がありましたので、自分たちの花壇はちょっと失敗してしまいました。花植えとかいろいろ計画して、プランターに植える花も、みんなで一緒になってやるのだと言っていたのですが、それも全部、県の方でやることになって、ちょっと聞いていた話と違っていたというこがあったのですけれども、そんなもんです。どこまで環境整備に私たちの活動が繋がっているかという、ちょっと疑問です。

(渋谷会長) 大変ご苦労されていらっしゃって。人が減って、高齢化が進んで、なかなか活動が続けるのが難しい。

(大菅委員) 高齢化してですね、草をとるとかね、こないだ花壇の後始末をしてきたのですけれども、雨が降って、年寄りには大変だなと、これは言い訳ですけども。それともう一つは、会員の親睦で、私たちの上部団体に日本花いっぱい連盟というものがあります。去年は静岡大会があつて行って来たり、来年は松本市で全国大会がありますので、花壇を推薦して、表彰していただいて。今、市の花いっぱいの表彰制度はなくなりましたので、全日本にきれいなお花を咲かせている花壇を推薦して、大会にみんなで一緒に行きましょうとか、そういうことは続けてやっております。なんせ自主的な団体なので。ただ私たちの存在は、市の生活環境課の方で事務局をやっただいて、いろいろなアドバイスを受けながら活動している。こういうことがなくなれば、出来なくなっちゃうような、無くなってしまうような高齢者団体になってしまった。会員を募集していますので、是非、入って活動していただければ、よろしく願いしておきたいと思います。

(渋谷会長) どうもありがとうございます。環境保全活動をするにあたって健康面と高齢化という問題もあるんですね。

(晴山委員) わからないので聞ききたいのですけれども、環境美化、自然環境の中で、雑草、草については全然ふれていないのですが。例えば、花巻空港は玄関口になっているのですが、道路の雑草は環境整備かと思うのですけれども、それは市の仕事なのか、県の仕事なのか、その点わかりませんが、雑草も結構、見栄えが悪く、道路ばかりではなく、例えば農家とか地域に入っても景観の部分すごく荒れているので、そういうような対策などは、どのような方面から行っているのでしょうか。

(渋谷会長) 環境美化というか、景観というかですよ。

(事務局：細川部長) 非常に鋭いご指摘でございます。一般論でいきますと、道路の場合は、県道であれば県、国道であれば国、市道であれば市ということで、道路用地の境に法面とか花壇とかあれば、基本的に道路管理者、それぞれ、国・県・市が管理すべきものということになるんですけども、現実には、きっちり手が回っていない。危ないところとか、見通しに支障がでそうなところは、ある程度、手が入っていますが、見栄えが悪い的なところは、割と手が回っていない。あるいは地元や近所の人達のボランティアやご配慮によって支えられているという現実があると思います。花巻の市道だけでも何千キロとあって、到底、手間をかけて、人手をかけて、財源をもってやるというのは、現実的には非常に困難な実態があって、どうしても地元の人とか田んぼの所有者の方々とかに甘えているというのが、実態であると思います。そういう意味で、景観部分は、環境といった視点とは違って、観光花巻と呼ばれておりますが、観光サイドの視点であったり、あるいは、景観というのは見栄えという意味では、きれいにしなくてはいけないという話もあろうかと思いますが、なかなかそっちにいかないところがあります。市の環境のほうでも、いわゆる空地の管理が不十分で、近隣にご迷惑をかけているようなものについては、「草刈してください」とか「管理お願いします」という、ご指導などはしていますけれども、ご指摘があれば、市道であれば道路管理者の方にお伝えするということにとどまっているのが、正直なところでございます。そういったことまで行き届いているとは言い難いところがあると思います。実態としては、そういう状況でございます。

(渋谷会長) なかなか難しいということでもよろしいですか。難しくはないのでしょうかけれども、努力していただいて。何かあった時に、窓口の方に行っていただくということから始まるかもしれませんね。

(晴山委員) 窓口は、市でいいのですよね。

(事務局：細川部長) 基本的に市に言っていただければ、それが、県であっても道路であっても、我々の方から、状況をお伝えしますので、遠慮なく市の方へ言ってください。

(中村委員) 関連して、先ほど川の景観について話しましたが、花巻市には、景観保全条例のようなものはあるのでしょうか。

(事務局：細川部長) ないです。

(中村委員) 花巻の街中の景観を作っていくという姿勢とか、そういう全体なものはないのかという、危機感をもっているのですけどね。

(事務局：細川部長) どうしても都市計画とか、そういう視点部門においても、いわゆる道路を整備するとかという段階にとどまってしまっているのが、景観のところまで行き届かないうちに世の中の方向性が変わって、今に至っているという現実はあるかと思いますが、そういった意味では、ご意見の視点は、ごもっともだと思います。

(玉田委員) 河川清掃のところ、いわゆる清掃を委託しているという実績はあるのですが、ごみの回収量は減ってきているのでしょうか。

(事務局：清水課長) 数値的には、平成26年度との比較しかできないのですが、平成26年が3.2t、平成27年が6.1tの実績が残ってしまっていて、かならずしも減っている訳ではない、という実態があります。

(玉田委員) そういう現況もある程度、書いた方がよいのではないのでしょうか。

(渋谷会長) 要は、地元の方が委託をしていて、これだけごみを集めていただいた、ということですね。

(玉田委員) そうですね。

(渋谷会長) 地域住民の方の活躍を描く意味でよいのかもしれません。記述だけでいいと思いますけれども、加えていただければ。ほかにございますか。

(岩田委員) 環境課の課題になるかのわからないのですが、先ほど出ました景観推進あるいは景観保全の取り組みというのは、今のところ、予定、計画はございますか。花巻市では。

(事務局：細川部長) 現時点では、具体の動きはないです。どう作るかということにもなりますが、一般的に景観条例的なものは、都市計画というか、建設というか、国交省サイドと言われる側なのかと思うものの、どういう視点で、どういう景観を守るかによっては違ってくる可能性はあると思います。一般的に景観の場合は、環境サイドではない方で、条例とかを作っていることが多いです。

(岩田委員) 市としてはまだ、全然考えていない。

(事務局：細川部長) 具体的な話は出ていない状態です。

(岩田委員) ちょっと残念だと思うのは、観光を一つの産業の基盤としようとしている花巻市は、例えば、同じような考え方で市の発展を考えている遠野市と比較して、私も10年以上景観の推進の委員会をやっていますが、遠野市の街中は古い街並みに補助金を出し、最近では山口集落に水車小屋を含めて改築するとか、集落全体の景観を統一するとか。今後やろうとするのは、荒川高原の昔の牧場をですね、現在、馬牧場、これを整備しようとするもので、文化庁からかなりの予算規模をいただいたり、指導をいただいたり、結果的に、十数年間で観光立国になってるのですね。そういう長期的視点で、花巻をどうするかというのは、市として重要な課題ではないかなという気がしていましたので、一言申し上げました。

(渋谷会長) 景観三法、景観の法律からいうと、都市だけではなくて、自然環境も全部含めて、みどり三法というのが出来ていて、中心は都市であっていいのですが、田園から山手まで、全部統括して、景観を考えているので、ぜひ、美しいところは沢山あるので、壊れないうちに、守っていくという姿勢は出した方がいいか

など。特に花巻温泉とかは景観がよくないと困るので、検討いただければと思います。市でどういう風を持っていくかどうか分かりませんが、ぜひ早く、条例制定をしていただければと思います。ほかには、ありますか。

(日下委員) 環境学習チャレンジブックがどんなものか見たいのですけれども、今日はお持ちでしょうか。

(事務局：清水課長) 持ってきていないです。イメージは、マンガ見たいのが書かれていて、ごみとか空気とかいろいろな分野に分かれており、勉強するような形で構成している。そんな多くない、10数ページの冊子です。

(日下委員) 104冊というのは、全体ですか。希望する学校に配布しているのですよね。決して多くないという感じがするのですが。

(事務局：清水課長) 多くないです。平成27年は一番少なかったです。

(日下委員) これって、沢山作っているわけではないのですか。

(事務局：清水課長) 今年の予算では、500冊を作りました。

(日下委員) ぜひ活用していただきますように、コマーシャルしたらいかがでしょうか。

(事務局：清水課長) 各学校には、毎年、PRしております。ただ、全学校へ配布だと、活用されない可能性があるので、希望ということにしています。我々としても、学校の事業での取り組みではなくても、家庭に持ち帰って、親御さんたちとお話してくださいという取り組みも必要ではないかと思っはいるので、その辺は柔軟な対応で、活用してほしいと思っはいます。地域の子供たちによろしく願っはいたします。

(渋谷会長) 市の校長会の方がおりますので、ぜひ、使っはいただくよう願っはしていただければと思っはいます。ほかにはございませんか、大分時間になっはしまっは、すいません。全体として何かございません。なければこれで、第1章についてのご意見はいただいたので、市の方で今出たご意見を参考に修正等、是非よろしく願っはいたします。よろしいでしょうか。ここでちょっと休憩を、時間があまりないのですが、5分程度、休憩時間を取りたいと思っはいます。

— 午後15時15分～午後15時20分 休憩 —

(渋谷会長) 引き続き、2番目の「花巻市環境基本計画の進捗状況」ということで、これは27年度が前計画の最終年度ということで、多くの方は、去年ですね、何回も新環境基本計画策定の時にお話を聞いていたと思っはすけれども、27年度、ちょうど改訂の時期だったんですね。27年度の結果を待たずに、次の計画の策定準備をしたということで、27年度の結果が出ていなかっは。その最終年の結果を今回、報告されてるということでご理解いただきたい。簡単に市の方から説明してください。

～(事務局：清水課長) 「Ⅱ 花巻市環境基本計画の進捗状況」 について説明 ～

(渋谷会長) すでに完了した計画の最終年度の報告になると思います。ご意見ありますでしょうか。

(日下委員) 21 ページの具体的施策の取り組み状況について、公用車に低公害車を配置しましたとありますが、農政課と生活環境課の分は全部入れ替わったのですか。

(事務局：清水課長) 1 台ずつでした。全部交換したいのですが予算がないので、配置しましたは、各々 1 台ずつです。

(渋谷会長) 評価についてはなかなか厳しい。Aがついているものが一番よく、Bが現状維持、Cがちょっとまずいということで、やっぱり自然環境はなかなか厳しいですね。Cがあがっている。結果がこうだったということなので、今年度から始まる計画はこの指標そのものではないですけれども、毎年チェックが入ることになると思うので。今まであまり前計画の途中途中でのチェックは入ってなかったですよ。たしか。

(事務局：清水課長) 26 年度に皆様にご報告しましたが、策定後に次の年から皆さんへのご報告が抜けている期間があったので、その反省を踏まえて、これからは毎年やりますので、どうぞご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

(渋谷会長) 審議会で進捗のチェックをしていくことが入りますので、行政に対して遅れている様であれば、「こうした方がいいんじゃないか」と積極的なご意見をいただいて進めていくようにした方がいいと思います。これは過去系、27 年度の終わった話なので、今さらという感じはありますが、これで取りまとめとして、次のステップに取り組んでいければと思います。

(晴山委員) 意見ではありませんけれども、24 ページ 25 ページにグリーンツーリズムとあるが、グリーンの次に・があるのでないので意味が全然違います。グリーン・ツーリズムなので。

(渋谷会長) 備考のところにはちゃんと点が入っていますね。

(事務局：細川部長) 失礼いたしました。

(渋谷会長) よろしいですか。それでは次のⅢですけれども、一般廃棄物処理基本計画の進捗状況についてご説明をお願いします。

～ (事務局：清水課長) 「Ⅲ 花巻市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況」 について説明 ～

(渋谷会長) ありがとうございます。ごみとし尿に関して、何かありますか。表の書き方だと思うんですけども、達成したのか、していないのがよく分からなくて、目標値を超えた方がいいものと、下回ったほうがいいものが混ざっているので、パッと見たときに達成したのか、していないのか分からない。例えば、ごみの量は、一人あたりのごみの量は減ったほうがいいんですけども、下のほうの資源化のほうは逆に目標のパーセントを超えるべきものですけど、全部一緒に入っているので評価が難しい。それから資料にコメントがないので、口頭

で言われたことを足せばわかりやすくなると思う。

(事務局：細川部長) 解説して想像しないと理解できない比較になっているというご指摘は、おっしゃる通りでございます。説明文で課長が申しました17年度ベースに抑えることを目標にしたんだという部分がちゃんと伝わっていないと、表も数字も見られない。達成したのか、していないのかが分からないというのは、まさしくそうだと思います。

(渋谷会長) 分かりやすくしてもらえればいいと思います。結果論なので。

(事務局：細川部長) 解説が必要なところは書くようにしておきます。

(渋谷会長) 頑張っているところが、コストのところ。先ほどちょっとご説明ありましたが、6,000円くらい当初の年度より落ちているというのは広域化して大きくしたことによって、コストダウンしているので成果かもしれない。もっとコストを落としてもいいかもしれないけれども、一世帯1万円ということで、26年度は1,100円くらいなので1,000円くらい落ちている。この辺は、頑張ったという風に見えるところ。これも新しい計画で動いていますよね。

(事務局：清水課長) そうです。

(渋谷会長) 一応締めということで、まとめて、もう少し分かりやすくしていただければいいです。最後の温暖化対策実行計画の進捗状況について、お願いします。

～ (事務局：清水課長) 「IV 花巻市役所地球温暖化対策実行計画の進捗状況」 について説明 ～

(渋谷会長) ありがとうございます。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

(日下委員) 花巻市役所の範囲というのは、総合支所とか出先機関とか振興センターも含まれていますか。

(事務局：清水課長) すべて含まれています。

(渋谷会長) 説明に書いてあるのが、自分たちの努力ではなくて、ほかに業務が移行したから減りましたという風にとれる。その通りなのかと思うのですけれども、削減が大きくなった理由として、その施設が全体として減っていれば全体に寄与するということですよ。だから、業務移管したから減ったということは、事実であるけれども市の努力でもある。移行するためのいろんなことがあるし、全体として見ればプラス要因なのかなという気がします。なんとなく、減ったのは自分たちの努力ではないという感じに書いてあるのですけれども、結果として27年度最終年度、期間中全体としても目標を達成しているのですか。

(事務局：清水課長) 期間中は、必ずしも全ての年度で達成しておらず、達成していないのは、21・24・25年度、26年は水道企業が移行したので達成しています。そういう意味では、ちょっとばらつきがあります。23年が

達成した理由は、震災の影響で電気の使用を抑えたところがあるので。

(渋谷会長) 環境促進なのかよく分かりませんが、計画の結果を外部に出すことは、市としても一つの方法かもしれませんね。

(八重樫委員) 温室効果ガスの4種類は、どうやって測って、どういう風にこの数字がでるのでしょうか。

(事務局：似内係長) 燃料の内容によって、二酸化炭素などの割合が決められておまして、その計算式に基づいて算定しています。

(八重樫委員) 燃料というのは、ガソリンとかガスですか。

(事務局：似内係長) はい。

(渋谷会長) 表2の燃料がありますけれども、それにある一定の比率を、発生するであろう率を掛けながら計算していくという作業になると思います。よろしいでしょうか。最初にご指摘ありましたけれども、目次の「進捗」を直していただいて、全体としてご意見等ございますか。それでは、意見は出尽くしたということで、これは諮問までではないので、意見を申し上げるだけでよろしいですか。

(事務局：清水課長) そうですね。皆さんから、結果についてのご意見などいただくという部分ですし、あとは、たくさん指摘をいただきましたので、まず修正させていただいた上で、さらには、ホームページ等で一般に公開するという形になります。

(渋谷会長) 修正については、市のほうにお任せするというでよろしいでしょうか。

(委員より「はい」の声あり)

(渋谷会長) 市のほうに一任して作業進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。それでは、長時間にわたり、ありがとうございました。私の仕事は終わりという形で、事務局にお返しいたします。

5 その他

(事務局：山口補佐) 円滑な進行をしていただきまして、ありがとうございます。5のその他ですけど事務局のほうからは特に用意しておりませんが、皆様からは何かございますか。

6 閉会

(事務局：山口補佐) これをもちまして、花巻市環境審議会を終了いたします。委員の皆様、本日はありがとうございました。